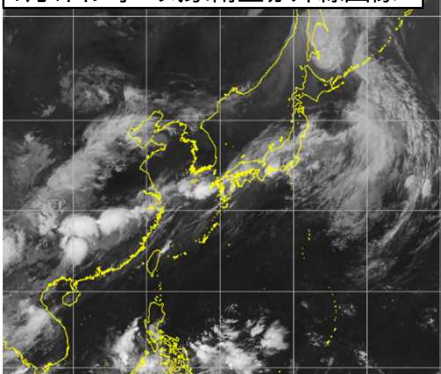


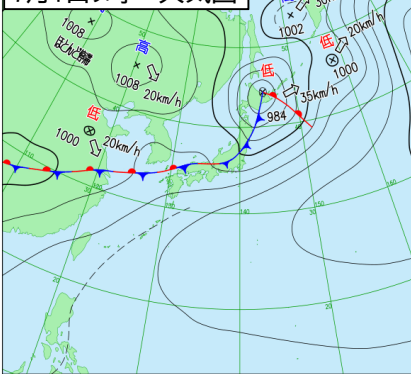
令和6年6月30日～7月1日 前線に伴う降雨における防災操作の概要

- 北陸付近にのびる梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、東海地方や北陸地方で激しい雨が降りました。
- 徳山ダム流域では、6月30日の3時頃から雨が降り始め、流域平均総雨量は約140mmを観測しました。特に7月1日9時に時間最大15.4mmの降雨を観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量(200m³/s)に達する出水となり、合計約250万m³(ナゴヤドーム約1.5杯分)の水を貯留しました。

7月1日9時 気象衛星赤外線画像



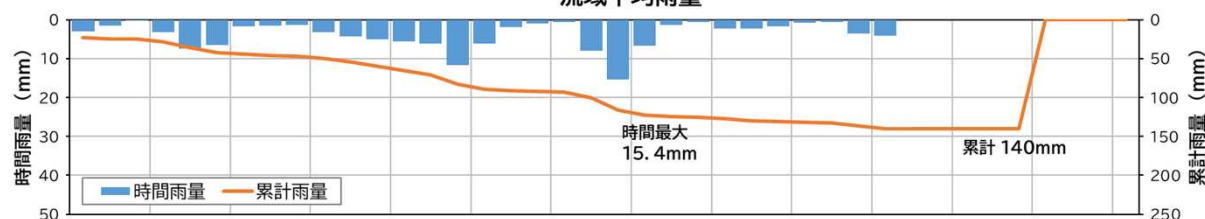
7月1日9時 天気図



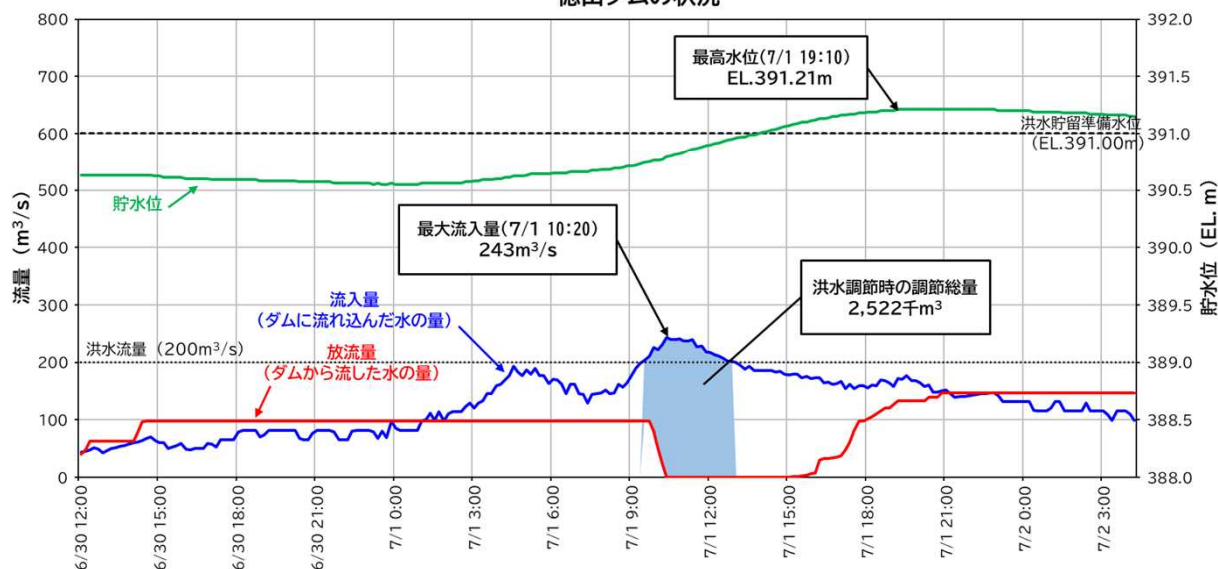
7月1日9時 レーダ雨量



流域平均雨量



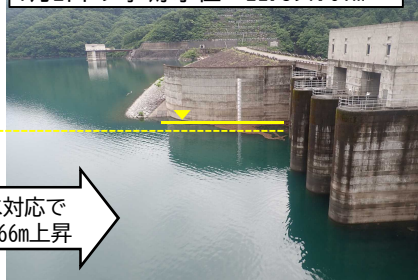
徳山ダムの状況



7月1日 9時 貯水位：EL. 390.71m



7月2日 9時 貯水位：EL. 391.07m



今回の出水対応で
貯水位は0.66m上昇